



【戦評シート】

平成23年8月10日(水)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場 所： 琴丘総合体育館 (Aコート)	記入者： 山崎淳一 相模津	
チームA 白河中央 (福島1位)	24-20 12-8 19-6 8-9	チームB 泉 (秋田2位)

スターター	チームA： #4, #5, #10, #11, #12
	チームB： #4, #6, #8, #9, #15
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、両チームともマンツーマンでスタート。白河中央は#4高田の3Pで先制すると、#11遠藤のポストプレイ、#12矢上の3Pなど開始4分で13-4とリードする。一方、泉はターンオーバーが目立ったものの徐々にリズムを取り戻し、#4阿部の3P、#6伊藤のジャンプシュートなどで4点差まで詰め寄り、24-20で第1ピリオドを終える。

第2ピリオド、白河中央は#11遠藤がリバウンドシュートやゴール下で合わせてリードを広げる。追う展開となった泉だが、相手の厳しいディフェンスの前になかなかシュートを決めることができず、3分37秒31-23となったところでタイムアウト。その後、泉は#6伊藤がジャンプシュートやリバウンドシュートを決めるが、白河中央も#4高田の3Pなどで加点し、36-28で前半を終了。

第3ピリオド、白河中央は#10齋藤、#4高田らが小気味よくシュートを決め、#12矢上の3Pで一気に45-30と大きくリードしたところで泉がタイムアウト。しかし、その後も白河中央の勢いは止まらず、連続10得点でさらにリードを広げ55-34で第3ピリオド終了。

第4ピリオドに入っても流れは変わらず、白河中央の厳しいディフェンスの前に泉は苦しいオフェンスが続く。4分51秒、泉はタイムアウトからオフェンスの立て直しを図り、#9上田、#4阿部らがシュートを決めて一矢報いようとするが、結局63-43で白河中央が決勝進出を決めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。